

レナコート

特 長

用 途

荷 姿

危険情報と安全管理

標準施工仕様

レナコートは、合成樹脂エマルジョンを結合材とした内装用吹付材です。表面のテクスチャーは丸みを持った小粒状で、汚れにくく優雅な仕上げになります。仕上げには、吹放し仕上げ、多彩仕上げ、ゆず肌仕上げの3種類があります。

1. 下地への密着性、耐久性に優れています。
2. 施工が非常に簡単で安定した仕上がりが得られます。
3. 上塗材の併用により、様々な機能を付与することができます。

- ① 住宅・マンションなどの内装
- ② 店舗、事務所、工場、倉庫などの内装
- ③ 学校、幼稚園などの公共施設の内装
- ④ レストラン、食堂の内装

レナコート 22kg石油缶（標準塗坪：27～36m²/缶）
着色バインダー 20kg石油缶（標準塗坪：80～100m²/缶）
プリーズコート 16kg石油缶（標準塗坪：45～64m²/缶）

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。
 ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

<新規下地仕様／吹放し仕上げ>

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
下 地 調 整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●附着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							-	
(1) ※1,2 バテかい 研	●仕上げ用バテを使用し、凹部を中心にへらでバテかいしてください。 ●P150～220のサンドペーパーでバテかい部を中心に均一に研磨してください。							-	
2	※3,4,5 下 塗 り	着 色 バ イ ン ダ ー	100	0.20～ 0.25	1～2	2以上	2以上	-	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
	清 水	0～20	-						
3	主材塗り(1) (基層塗り)	レ ナ コ ー ト	100	0.3～ 0.4	1	-	3以上	-	主材塗り (1) HSガン
		清 水	10～15	-					
4	主材塗り(2) (模様塗り)	レ ナ コ ー ト	100	0.3～ 0.4	1	-	(24以上)	24以上	主材塗り (2) リシンガン 口径：3～4mm 圧力：392～588kPa (4～6kgf/cm ²)
		清 水	0～3	-					
(5)	※6,7,8,9,10 上 塗 り	プ リ ー ズ コ ー ト	100	0.25～ 0.35	2	3以上	-	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
		清 水	0～15	-					

- ※1. 仕上げ用バテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りをを行い、十分に確認した上で本施工に入ってください。
 - ※2. バテかい部が他の面と比べ、吸込み差を生じるおそれがある場合は、バテかい部を中心に下塗材を塗付してください。
 - ※3. 下地の状況に応じて下塗材の選択を行ってください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
 - ※4. やにの多い場合は、SK水性ヤ止めシーラー（15kg石油缶）を塗付後、着色バインダーを塗付してください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
 - ※5. SK水性ヤ止めシーラーは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに同じ洗剤での塗装器具の洗浄は行わないでください。
 - ※6. プリーズコートの清水での希釈率は、スプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。
 - ※7. プリーズコートの希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈量で使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
 - ※8. 防火材料として使用する場合は、上塗り工程を省略してください。
 - ※9. 上塗り塗付の場合は、基層塗り工程を省くことができます。
 - ※10. 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますので、衣類などが触れる可能性のある部位への塗装はなるべく避けてください。
 - ※11. 施工時は、換気に十分配慮してください。
 - ※12. 「所要量」は塗装条件などにより異なりますが、被塗面に付着させる塗料の「標準塗付量」は、着色バインダーで0.18～0.20kg/m²、レナコート（吹放し仕上げ）で0.5～0.6kg/m²となります。なお各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。
- 注) 防火認定仕様につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。なお、防火認定仕様は塗付量が基準となります。「塗付量」は、「実際に塗付けしている塗装材料の重量」のことであり、「所要量」とは意味合いが異なりますのでご注意ください。

性能試験成績表

JIS K 5668 合成樹脂エマルジョン模様塗料2種による物性結果

試 験 項 目	結 果	品 質
容 器 の 中 で の 状 態	合 格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗 装 作 業 性	合 格	塗装作業に支障があってはならない。
低 温 安 定 性 (- 5 ℃)	合 格	安定であるものとする。
乾 燥 時 間	合 格	8時間以内
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であるものとする。
耐 ア ル カ リ 性	合 格	18時間浸したとき異常がないものとする。
耐 洗 浄 性	合 格	300回の洗浄に耐えるものとする。
耐 衝 撃 性	合 格	衝撃で、割れ及び剥がれができないものとする。
促 進 乾 燥 性	合 格	風洞中で乾燥させたとき、割れ及び剥がれができないものとする。